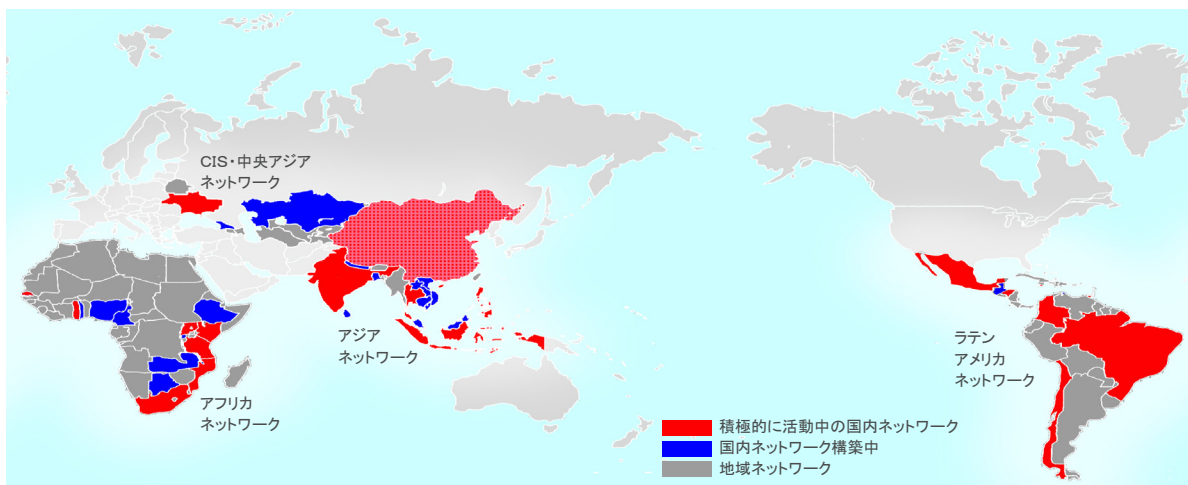




## CTI PFANは 革新的プロジェクトと投資家を結ぶ架け橋となり 世界のクリーンエネルギー開発をサポートします

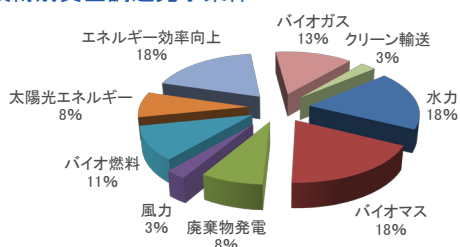
これまでの実績: 民間資金調達完了プロジェクト38件、調達総額4億3200万米ドル達成

- CTI 民間資金調達支援ネットワーク(CTI Private Financing Advisory Network, CTI PFAN)は、グローバルな多国間官民パートナーシップであり、資金調達を必要とするクリーンエネルギープロジェクトと投融資家との架け橋となり、温室効果ガスの排出削減を目指します。
- 2006年の活動開始以来、CTI PFAN はアジア、ラテンアメリカ、アフリカ、独立国家共同体(CIS)・中央アジアに、開発者と投資家による地域ネットワークを、また、域内数ヶ国に国内ネットワークを構築しました。
- 2013年3月現在、アジア地域では中国、インド、インドネシア、タイ、フィリピンに、ラテンアメリカ地域ではブラジル、チリ、コロンビア、メキシコ、ホンジュラス、パナマ、ジャマイカ、トリニダードトバゴ、アルーバ、ベリーズ、グアテマラに、アフリカ地域では南アフリカ、ボツワナ、レソト、スワジランド、ウガンダ、モザンビーク、ザンビア、ケニア、ルワンダ、タンザニアに、CIS・中央アジアではグルジア、ウクライナ、カザフスタンにそれぞれ国内ネットワークがあります。

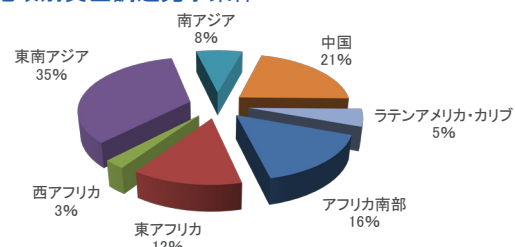


- 164件以上のクリーンエネルギープロジェクトがCTI PFANの継続的な開発の支援を受けており、うち38件が総額4億3200万米ドル超の資金調達を完了させました。これらのプロジェクトは、バイオガス、バイオマス、廃棄物熱源転換、クリーン輸送、風力、太陽光、小型水力発電、省エネなど、多岐の分野にわたります。
- これら38件のプロジェクトの実現により、年間約190万トンのCO<sub>2</sub>排出削減および316メガワットを超えるクリーンエネルギー発電量が見込まれます。

技術別資金調達完了案件



地域別資金調達完了案件



## CTI PFAN アジア

CTI PFANは、2009年4月にアジア地域での活動を開始して以来、中国、インド、インドネシア、タイ、フィリピンにそれぞれ国内ネットワークを設け、ASEAN加盟国を幅広く対象にした地域ネットワークも確立しました。

## CTI PFAN クリーンエネルギー・ファイナンス・フォーラム

コンペティション形式で、有望なクリーンエネルギープロジェクトに関心のある投資家に紹介するクリーンエネルギー・ファイナンス・フォーラムは、CTI PFANの中核的な活動のひとつとして、プロジェクト開発者を資金源に結びつける役割を果たし、高い成果を挙げています。2013年3月までに、13回のフォーラム(内訳:アジア、アフリカで計5回の地域フォーラム、およびフィリピン、インドネシア、中国、インド、ブラジルで計8回の国内フォーラム)が開催されました。フォーラムは多大な効果をもたらした。CTI PFANによる支援の結果、アジア地域においてはこれまでに24件の有望なプロジェクトが、開発を前進させるための資金を調達しました。

## アジアの資金調達完了プロジェクト例



ASEA Oneプロジェクトの発足式に立ち会う、アロヨ前フィリピン大統領(2009年12月7日)

企業名:	ASEA One Power Corporation
実施地域:	フィリピン、アクラン州バンガ
技術分野:	バイオマス
資金調達額:	3000万米ドル
エネルギー発電量:	12MW
年間CO <sub>2</sub> 排出削減量:	40,000トン

▲ ASEA Oneは、CTI PFAN フィリピン クリーンエネルギー・ファイナンス・フォーラム 2009にて最優秀賞を受賞し、バンガ バイオマスエネルギープラント(12MW)の建設に要する30百万米ドルを調達。CTI PFANは、ユニークな利益分配モデルを用いた事業計画を開発し、取引交渉を支援した。

企業名:	Solutions Using Renewable Energy (SURE)
実施地域:	フィリピン、ラウニオン州ロザリオおよび ミンダナオ島カガヤン・デ・オロ(2ヶ所)
技術分野:	バイオマス
資金調達額:	1660万米ドル
エネルギー発電量:	6.8MW

▲ CTI PFANは、SUREが推進する、6件のバイオマスエネルギープロジェクト(精米、食品、木材およびココナッツをベースにした産業など)のうち、2件を資金調達完了に導いた。さらに他4件に対しても支援を継続中。Pepsi Co. フィリピンは、ラウニオンのもみ殻のガス化発電・発熱プロジェクトのオフテイカー(引き取り手)である。



フィリピン、ラウニオンでのバイオマスコジェネレーションプラント起工式(2010年5月28日)

企業名:	Nobao Renewable Energy Holdings Ltd.
実施地域:	中国、上海
技術分野:	ビル・建物のための省エネ
資金調達額:	1000万米ドル
省エネ率:	1プロジェクト当たり50-70%

▲ Nobaoの地熱ヒートポンプは、従来の化石燃料による発電をベースとした暖房・換気および空調システムに代わる、浅部地熱資源を活用した統合システムであり、50年の耐用年数、維持管理費用の低減、温室効果ガス排出ゼロおよび50-70%の使用エネルギー削減など多くの利点を持つ。

企業名:	Rak Baan Rao Co., Ltd.
実施地域:	タイ、パトゥムターニー県 タクロング
技術分野:	廃棄物熱源転換
資金調達額:	500万米ドル
エネルギー発電量:	3.5MW
年間CO <sub>2</sub> 排出削減量:	52,500トン

▲ CTI PFANは、既存の1MW級プラントに、都市ごみから分離された有機廃棄物を原料とした嫌気性消化槽からのバイオガス生成能力(2MW)、ならびに廃プラスチックガスをベースにした、合成ガス製造能力(1.5MW)を増設するための資金調達を支援した。

世界全地域における、完了プロジェクトおよび現在CTI PFANの支援下にあるプロジェクトのリスト(英文のみ)は、<http://www.cti-pfan.net/pipeline.php?id=6> よりダウンロード可能です。

公益財団法人 国際環境技術移転センター(ICETT)は、経済産業省の委託事業「地球環境国際連携事業」の一環として、CTI PFAN活動を支援しています。

CTI PFAN スポンサー:

